

大学名： 大阪公立大学（2021 年度名称は大阪府立大学）

ASPUnivNet の 4 つの機能	評価項目	事例記述
学校のユネスコスクール加盟を支援します。	1. ユネスコスクール加盟を希望する地域の学校から相談があったときにそれに応じることができた。	・相談に対して全て対面（自ら訪問と来訪両方）で対応している。（5 校）
	2. ユネスコスクール・チャレンジ期間実施校に対する相談に応じることができた。	・相談に対して全て対面（自ら訪問と来訪両方）で対応している。（10 校のべ 17 回）
	3. 地域の加盟済のユネスコスクールに向けて ESD/SDGs をリードする学校としての「質の向上」にかかわる支援を行うことができた。	・これは教員研修等と兼ねて実施。（7 校のべ 22 回以上）
大学の持つ知的財産をユネスコスクールの活動に提供します。	1. 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールに向けた支援（資料提供やコーディネート、出前授業やワークショップなど）を行うことができた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出前授業：オンラインや対面にて実施。留学生交流会を含む。（3 校）</li> <li>・ユネスコスクールではないが、加盟を視野にいれている学校への出前授業を実施。（2 校）</li> <li>・コーディネート：「ESD/SDGs ちいさな成果の大きな連携 2021」（小/中/高/大学/企業/自治体/国際機関の 15 団体による SDGs の連帯企画）の実施・コーディネーションを行った。</li> </ul>
	2. 研修会やワークショップを地域のユネスコスクールと協働して開催することができた。	・教員研修会：小学校から高校まで実施（7 校のべ 11 回）。
	3. 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールと協働で教材やモデルプロジェクトを開発することができた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪府立大学、大阪府立長野高校、名鉄観光、近鉄不動産が SDGs 教材プロジェクト「SDGs で環状線（天王寺版）」を協働して開発・実施した。</li> <li>・本学に通うユネスコスクール出身の学生が、ユネスコスクールに出向いて活動を説明。</li> </ul>
地域の教育機関とユネスコスクールとの連携を促進します。	1. 地域のステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。	
	2. ユネスコスクールと地域の多様なステークホルダーとを結びつけることができた。	
	3. ユネスコスクールに関連した地域教育委員会との連携や地域における大学間の連携を促進することができた。	

<p>国内外のユネスコスクールとのネットワークづくりを支援します。</p>	<p>1. 地域をこえた国内外の多様なステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について知らせることができた</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>韓国清州教育委員会のユネスコ担当者と国際交流について連携を通じて共有</li> <li>国際連合 United Nations, Department of Global Communications, Outreach Department 担当者と連携した事業（「ESD/SDGs ちいさな成果の大きな連携 2021」）により共有</li> </ul>
	<p>2. 地域をこえた国内外のユネスコスクールと協働で活動することができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国外において特に大きな進展があった。 韓国・清州市立直指小学校と姫路市立安富北小学校とのオンライン交流ならびにその打ち合わせを仲介し、清州市教育委員会、清州市立直指小学校、姫路市立安富北小学校、大阪府立大学が協働して活動した。教員交流と生徒交流の合計4回実施。</li> <li>国内においては、「ESD/SDGs ちいさな成果の大きな連携 2021」により大阪府立、兵庫県立、奈良県立、大阪市長、神戸市長、東大阪市長、私立学校の小中高校大学による協働の学びあいが行われ、行政単位（地域）と学校種を超えた活動が行われた。</li> </ul>
	<p>3. ユネスコスクールがグローバルな活動することについてそれを支援することができた。（例：ユネスコスクールの国境を越えた交流、海外とのオンライン交流、海外のプロジェクトへの参加など）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外との交流（上記と同じ） 清州市立清州小学校と姫路市立安富北小学校とのオンライン交流ならびにその打ち合わせを仲介し、清州市教育委員会、清州市立直指小学校、姫路市立安富北小学校、大阪府立大学が協働して活動した。教員交流と生徒交流の合計4回実施。</li> <li>国際連合 United Nations, Department of Global Communications, Outreach Department 担当者と連携した事業（「ESD/SDGs ちいさな成果の大きな連携 2021」）で同事業に参加した児童生徒学生が交流。</li> </ul>
<p>その他の活動</p>	<p>1. 大学内でユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大阪公立大学としての最初の入学試験よりユネスコスクール特別選抜制度を実施した。</li> <li>既存の入試制度とは大きく異なる方法によって学生募集を行ったことにより全国にユネスコスクールの存在を広げることになった。</li> </ul>
	<p>2. 学部大学院の教育課程でユネスコスクールにかかわる教育を行うことができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代システム科学研究科においける講義（現代教育特論）、現代システム科学域教育福祉学類の講義では、教育福祉学概論、教育の法と制度、教科教育法、人間形成論などで特に扱う。</li> </ul>
	<p>3. 調査研究活動でユネスコスクールに関連した調査研究を行うことができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大阪公立大学博士課程院生（在籍は大阪府立大学人間社会システム科学研究科博士後期課程による研究、ならびに大阪大学人間科学研究科博士前期課程の院生と連携して「学び」の質についての研究を継続中。これは学校教育に携わっておられる教員が深くかわり、かつ児童生徒学生の協力により実施されている。</li> </ul>
	<p>4. 自由記述</p>	